

■ 上水道水源に係る調査結果について

小口川と那珂川の合流近く的那珂川左岸には、図-1で示すように馬頭町の上水道水源が5箇所が存在します。第一水源～第四水源は7m～8mの浅井戸ですが、一番南にある第五水源は250mの深井戸です。

調査の結果、以下のことが明らかになりました。

- ① 第一水源～第三水源がある北向田・久那瀬の圃場(ほよ)下の浅い層の地下水は、地下水位が最も低い2月～4月は東側の山地からの地下水や雨のしみ込みによる水が主体になり、5月以降は水田へのかんがい用水(新那珂橋の上流約2km的那珂川で取水)がしみ込んだ水が主体となると考えられます。また、水源周辺の地下水の主な流れは、南西または南南西の方向でした。
- ② 第四水源の地下水位は、那珂川の水位とほとんど同じで、那珂川の影響を受けています。
- ③ 第五水源の地下水は深い地下水の水質を示し、浅井戸の水質とは異なります。

候補地と上水道水源との間には、次のことが考察されます。

- ① 候補地の浅い層の地下水は備中沢や小口川に向かって流れており、第一水源～第三水源の地下水とは別な地下水と考えられます。
- ② 第四水源は那珂川からの伏流水が主な水源であり、候補地の地下水や小口川の水が影響することは考えられません。
- ③ 第五水源は候補地とは別の水系の地下水により涵養されていると考えられます。

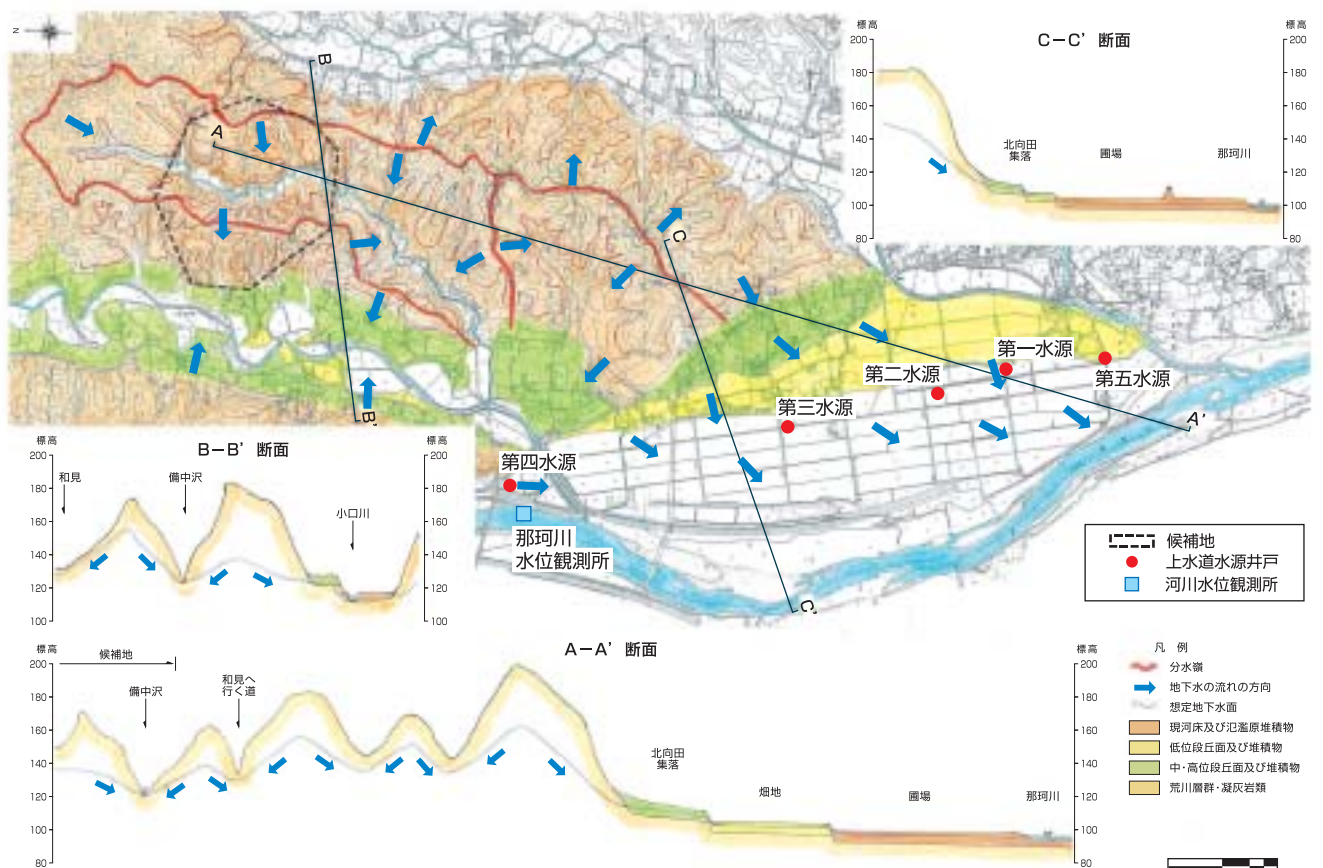


図-1 地下水流動状況 平面図及び断面図 (断面図のたての長さは、横の長さの7.5倍になっています。)